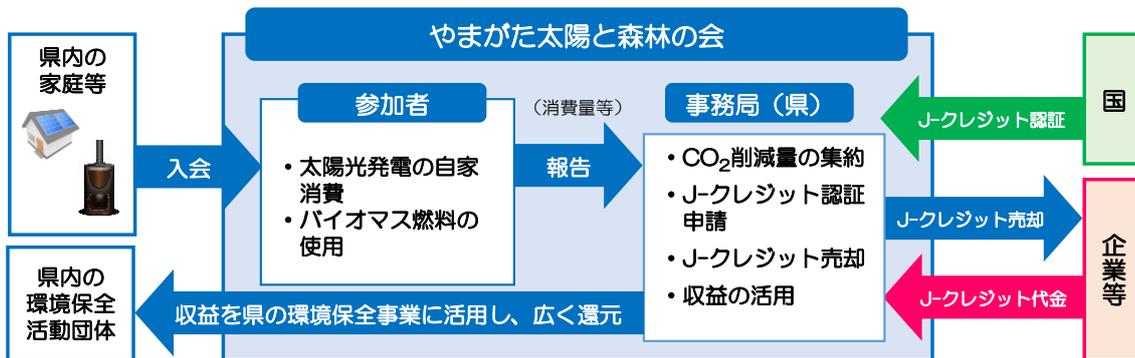


## 山形県民 CO2 削減価値創出事業について

県は、平成 28 年度から、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が認証する J-クレジット制度を活用し、県民が導入した太陽光発電設備又は木質バイオマス燃焼機器により削減された CO2 削減量をクレジット化し、これを都市圏の企業等に販売し、得られる収益を県内の環境保全活動に活用することにより、都市が地方を支える取組みを実施しています。

この取組みは、平成 29 年度全国知事会で「CO2 削減で都市が地域を支える仕組みづくり」として、環境分野での優秀政策表彰を受けました。

### ▼事業スキーム



※「やまがた太陽と森林（もり）の会」とは、削減活動の実施者名であり、会に参加する県民及び県内事業者により構成されます。

### ▼プロジェクト概要

プロジェクト種別	太陽光発電設備 木質バイオマス燃焼機器（方法論に応じた 2 事業）
参加者募集開始日	平成28年 4 月 1 日
活動開始日	太陽光発電設備：平成28年 8 月 1 日 木質バイオマス燃焼機器：平成28年 9 月 1 日

### ▼取組体制

運営・管理者	山形県
運営事務局	環境企画課
参加者	やまがた太陽と森林（もり）の会 ※平成28年度以降に、太陽光発電設備及び木質バイオマス燃焼機器（ペレット使用）に係る県の再エネ補助金を受給する場合は、本会への参加同意を条件としている。なお、補助金受給者以外からも会員を広く募集している。

### ▼参加状況

令和元年11月15日現在のやまがた太陽と森林（もり）の会の会員数（延数）は下表のとおり。

太陽光発電設備	木質バイオマス燃焼機器	合計
2, 698件	663件	3, 361件

※家庭及び事業所が会員であることから、単位を「件」としている。

### ▼クレジット認証量

認証年度	太陽光発電設備	木質バイオマス 燃焼機器	合 計	(参考)対象会員数
平成 28 年度	116 t-CO2	0 t-CO2	116 t-CO2	585 件
平成 29 年度	503 t-CO2	63 t-CO2	566 t-CO2	1,256 件
平成 30 年度	1,249 t-CO2	260 t-CO2	1,509 t-CO2	2,203 件
令和元年度	2,095 t-CO2	430 t-CO2	2,525 t-CO2	3,261 件

### ▼クレジット販売実績

	販売先	販売数量[t-CO2]			販売額小計 (税込)	販売者数
		計	太陽光	バイオマス		
第 1 回 (平成 28 年度)	東亜ディーケーケー(株)	116	116		250,560 円	1 社
第 2 回 (平成 29 年度)	新電元工(株)	50	50		1,177,254 円	4 社
	アキレス(株)	320	320			
	東亜ディーケーケー(株)	100	100			
	リンベル(株)	33	33			
第 3 回 (平成 29 年度)	リンベル(株)	63		63	125,874 円	1 社
第 4 回 (平成 30 年度)	新電元工業(株)	50	50		3,390,577 円	4 社
	(株)チノー	200	200			
	アキレス(株)	335	75	260		
	カルネコ(株)	924	924			
売却数量合計		2,191	1,868	323	4,944,265 円	延 10 社

### ▼販売収益の活用による環境保全活動支援の実績

年度	補助団体名	市町村	取組概要
平成 29 年度	NPO 法人おうらの里 おおやま再生プロジェクト	鶴岡市	環境保全フォーラム開催
	東沢ホテルの会	山形市	蛍の生息状況紹介パネルの作成・展示
平成 30 年度	ゲンジ蛍とカジカ蛙愛護会	高畠町	蛍の生息地と二井宿峠古道の花と歴史を紹介するパンフレット作製
	川西町衛生組織連合会	川西町	段ボールコンポストによる生ごみリサイクル運動
令和元年度	やまがた自然エネルギー ネットワーク	東根市	鶴岡市越沢地区における小水力発電の可能性調査
	NPO 法人 環境ネットやまがた	山形市	SDGs の理解に効果的なツールであるカードゲームを用いてのワークショップの開催
	サーモンロードの会	鮭川村	清流の貴重さについて理解を深める淡水魚等観察会の開催
	山形県シェアリング ネイチャー協会	鶴岡市	山形のブナ林の魅力を体験し理解を深めるためのプログラム作成

# 「やまがた太陽と森林の会」 クレジットの購入先を募集中!!

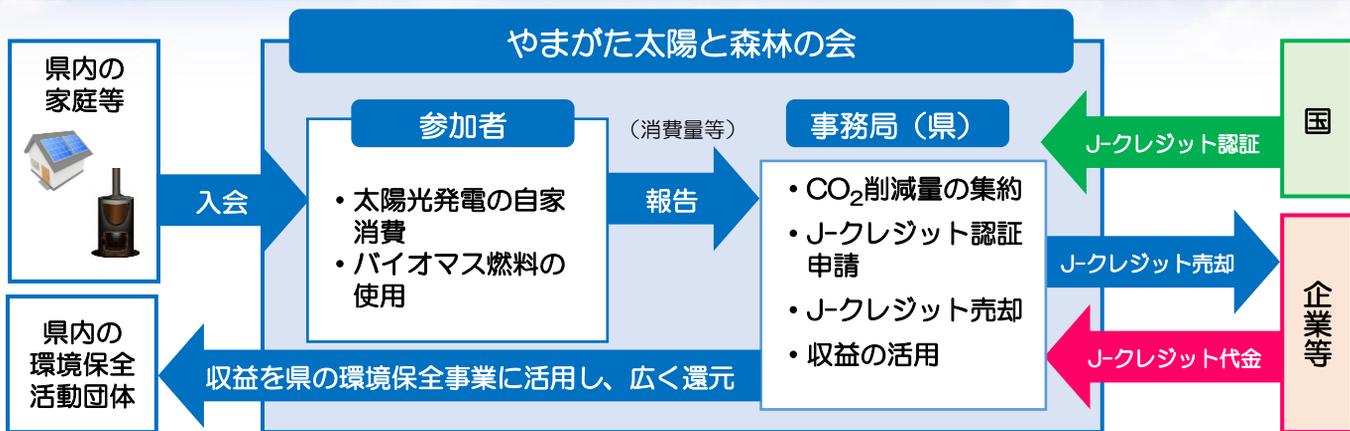
## 募集期間：令和元年11月1日～12月20日

山形県では、県民の皆様が導入した太陽光発電設備又は木質バイオマス燃焼機器により削減されたCO<sub>2</sub>をとりまとめ、国のJ-クレジット制度を活用して生み出された削減価値（クレジット）を都市圏の企業等に販売し、得られる収益を県内の環境保全活動に活用することにより、都市が地方を支える取組みを実施しています。

現在、この取組みで創出されたクレジットを購入いただける企業等を募集しております。

※ この取組みは東北地方では初めてであり、平成29年度全国知事会で「CO<sub>2</sub>削減で都市が地域を支える仕組みづくり」として、環境分野での優秀政策表彰を受けています。

### ▼やまがた太陽と森林の会の取組み



**J-クレジット制度とは…** 再エネ・省エネ機器の導入や森林経営などの取組みによる温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

### ▼クレジット購入のメリット

#### 環境貢献企業としてのPR効果

○クレジットの購入代金が山形県の環境保全活動支援事業に活用されることにより、再エネ導入の後押しになるほか、社会貢献につながります。

○また、知事との契約締結式等により報道機関を通したPRが期待できます。



#### 企業評価の向上

○一定規模のエネルギーを使用する企業等に義務付けられる**温対法の報告、CDP質問書**への報告、**RE100**での再エネ調達量の報告などにおいてクレジット購入を活用することで、企業評価の向上につながることがあります。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS  
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

**RE 100**

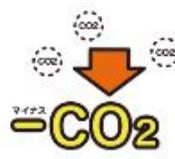


DISCLOSURE INSIGHT ACTION

#### 製品・サービスの差別化

○企業活動や商品製造において、どうしても削減出来ないCO<sub>2</sub>量を埋合せ（オフセット）することで、製品・サービスの差別化を図ることが可能です。

（オフセットの事例は、裏面をご覧ください）



### ▼過去の販売実績と令和元年度J-クレジット認証量

	太陽光発電	バイオマス	合計	購入者	販売金額計(税込)	平均単価(税込)
平成29年度	503t-CO <sub>2</sub>	63t-CO <sub>2</sub>	566t-CO <sub>2</sub>	5者	1,303,128円	2,302円/t-CO <sub>2</sub>
平成30年度	1,249t-CO <sub>2</sub>	260t-CO <sub>2</sub>	1,509t-CO <sub>2</sub>	4者	3,390,577円	2,246円/t-CO <sub>2</sub>
令和元年度	2,095t-CO <sub>2</sub>	430t-CO <sub>2</sub>	2,525t-CO <sub>2</sub>			

# ▼オフセットの事例

## ① イベント開催

お祭りやコンサート、スポーツ大会、各種展示会などのイベント主催者が、その開催に関係して発生するCO<sub>2</sub>排出量をオフセット

会場で使用する電気等

参加者の移動

オフ  
セット  
▶

廃棄物の処理

会場の設営

会議開催  
100人規模  
参加者の移動  
会場電気ガス利用  
⇒410kg-CO<sub>2</sub>

コンサート等  
2,000人規模  
参加者の移動  
会場電力、資材運搬  
⇒1,749kg-CO<sub>2</sub>

## ② 自己活動

企業の活動に関して発生するCO<sub>2</sub>排出量をオフセット（例：環境活動報告書の印刷に係る排出量、社用車の使用により発生する排出量等）

印刷物の発行

会社の電気等

オフ  
セット  
▶

社用車の使用

廃棄物の処理

パンフレット印刷  
A4版両面  
10,000部作成  
⇒510kg-CO<sub>2</sub>

営業車使用  
営業距離20km  
月20日使用  
燃費10km/l  
⇒93kg-CO<sub>2</sub>

## ③ 商品・サービス

製品の製造・輸送を行う際やサービスを提供する際に発生するCO<sub>2</sub>排出量をオフセットすることで、商品・サービスに付加価値をつける

原材料の調達・輸送

商品の輸送

オフ  
セット  
▶

商品の製造

顧客のサービス利用

給食用食器製造  
リサイクル強化磁器  
（直径18cm）  
⇒2.0kg-CO<sub>2</sub>

スマートフォン  
原材料調達、生産、流通、使用・維持管理、廃棄・リサイクル  
（想定使用期間2年）  
⇒10kg-CO<sub>2</sub>

※上記事例の右欄に示したオフセット量はあくまで例示ですので実際の取組みに沿った算定が必要となります。

## ▼販売収益の活用による環境保全活動支援

	補助団体名	市町村	取組概要
平成29年度	NPO法人おうらの里 おおやま再生プロジェクト	鶴岡市	環境保全フォーラムの開催
	東沢ホテルの会	山形市	蛍の生息状況紹介パネルの作製、展示
平成30年度	ゲンジ蛍とカジカ蛙愛護会	高島町	蛍の生息地と二宿峠古道の花と歴史パンフレット作製
	川西町衛生組合連合会	川西町	段ボールコンポストによる生ごみリサイクル運動
令和元年度	やまがた自然エネルギーネットワーク	東根市	鶴岡市越沢地区における小水力発電の可能性調査
	NPO法人 環境ネットやまがた	山形市	SDGsの理解に効果的なツールであるカードゲームを用いたのワークショップの開催
	サーモンロードの会	鮭川村	清流の貴重さを認識するための淡水魚等観察会の開催
	山形県シェアリング ネイチャー協会	鶴岡市	山形のブナ林の魅力を発信するためのプログラム作成

## ▼クレジットの購入について

○本取組みに興味をお持ちの事業者・団体等におかれましては、下記までお問い合わせください。

お申込み  
お問い合わせ

山形県 環境エネルギー部 環境企画課

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号

TEL : 023-630-2336 FAX : 023-630-2133

E-mail : ykanki@pref.yamagata.jp